

【調査目的】

卒業生の動向を知ること、また就業状況や大学での学びから、本学の教育の質評価を得ること、教育内容・人材育成検討への資料とすることである。

【調査時期・方法】

卒業生（1～10期生）約1800人を対象とした無記名のWeb調査を令和5年2月6日から令和5年3月25日までを回答期間として実施（回収370件、有効回答368件、同意を得られた解析対象365件）。

【結果の概要】

I. 基本情報

- 看護学科153名、栄養学科54名、歯科衛生学科73名、理学療法学専攻43名、作業療法学専攻42名が回答。県内高校出身者63%。一般選抜入試が62%。

II. 大学での教育・活動

- 教育への満足度は、12項目中11項目で80%以上が満足と回答。学生生活への満足度は、友達や教員との交流で90%以上が満足と回答。少人数のため学生間の関わりが密であり、教員との距離も近く指導が丁寧であると肯定的な意見が多くみられた。
- ディプロマポリシーについて、32項目中7項目で80%以上、14項目で70～80%が達成しているとの回答。一方達成状況が低い項目は、国内外から情報入手して保健医療に活用し発信できる（34%）、学際的な幅広い教養と知識を有し実践に活用できる（44%）であった。
- 大学の教育で改善すべき点として、授業の学年配分に偏りがあること、実践的な外国語（医療英語など）の授業開講、サークル数が少なくサークル活動以外での他学科や学年をこえての交流の機会が少ないこと、臨床に即した授業・実習の充実、教員の指導態度への不満などがみられた。施設設備については、大学設備の老朽化（トイレ、空調設備、机、椅子、劣悪なネット環境）に多数の意見がよせられた他、キャンパス間移動の不便さ、仁戸名キャンパスへのアクセスの悪さや通学路の安全性への不安、エレベーターの設置、学食や生協（売店）の充実などがあげられた。

III. 卒業後の進路・就職先

- 卒業直後の就職は98%（うち千葉県内65%）。専門分野と関連した仕事は96%。現在94%が就労。
- 転職経験者は約30%。転職理由はキャリアアップのほか、職場環境（パワハラ、いじめ、長時間労働など）、体調、結婚など。転職先（千葉県内45%）は98%が志望どおり。

IV. キャリア形成

- キャリアに対して87%が満足と回答。自分の希望どおり、キャリアの蓄積の実現、良好な職場環境が理由の上位。
- 今後のキャリアプランでは、専門職としてのキャリア形成を図るためスキルアップや専門性の向上、転職を視野に入れている者が多くみられた。大学院進学もみられた。
- 現在、大学時代に身につけたかったことは、専門的な知識や技術や実践力、語学力、国際的視点、対人スキルなど。
- 大学院への進学については、21%が既に進学・修了、いずれ進学を考えており、本学に設置された場合進学を希望する者は8.2%。